

9

さがそう！ふれよう！ 水辺のいきもの観察会

主 催 団 体	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 連絡先：〒989-5504 栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2 担当者：主任研究員 藤本 泰文 ☎ : 0228-33-2216 e-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp URL : http://izunuma.org/	
体 験 活 動	・宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター向かいの水生植物園で水生昆虫や魚類をたも網等で採集し、観察する。 ・伊豆沼に設置した定置網を引き上げ、魚類等を観察する。	
ね ら い	水中の生き物を観察し、実際に触れることを通して外来種問題とその影響について気づく。	
時 間	90 分 (45 分×2)	
対 象 学 年	小学1年生 ～ 6年生	
関 連 教 科 等	6年生 理科：生き物のくらしと環境	
対 象 人 数	1クラス（30人まで）、引率教師最低 2人必要（1人は救護用車担当）	
授 業 形 態	現地での体験活動	
場 所	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター向かいの水生植物園	
時 期	6月 ～ 10月	
準 備 物	児童：運動着、運動靴、帽子、水筒	教師：記録紙
留 意 事 項	水辺での活動となるので、落水等に注意する	
備 考	＊水位など条件が合えば、沼の中に入っの体験活動も行っています。	

【活動の様子】



プログラムの流れ（学習指導案） 90 分			
学 習 活 動	時 間 (分)	主催団体及び教師の役割	
		主催団体の役割	教師側の役割 （最低 2 人）
1 導入	10	・自己紹介 ・活動内容や場所の特徴を説明し、安全のための注意を促す。	○点検と確認 ・服装、準備物を点検する。 ・事前の健康確認を行う。
2 水生植物園へ移動	5	○水生植物園まで先導する。	・先頭と最後尾に 1 名ずつ配置し、安全に配慮しつつ児童を誘導する。
3 野外学習① ・たも網採集	30	・2つのグループに分け、たも網で水生生物の採集と、定置網で捕獲された魚類等の観察を 30 分ごとに交代して実施する。	○グループ活動を指示 ・落水や怪我について児童の安全を配慮する。 ・児童が活動場所以外に出ないように配慮する。
4 野外学習② ・定置網の生き物観察	30	○たも網による採集 ・巡回しつつ、採集の方法や生き物を解説する。 ○定置網の魚類等の観察 ・生き物図鑑を配り、簡易な見分け方で生き物を在来種、外来種、その他に分けさせる。 ・外来種問題について解説し、児童それぞれに意識や意見をもってもらう。	○グループ活動を指示 ・児童に発見や疑問点の発想を促す。 ・児童の採集や観察を補助する。 ・児童と一緒に生き物を観察してより身近に感じてもらう。
5 伊豆沼サンクチュアリセンターに移動	5	○伊豆沼サンクチュアリセンターまで先導する。	・先頭と最後尾に 1 名ずつ配置し、安全に配慮しつつ児童を誘導する。
6 まとめ、振り返り ・記録 ・感想発表 ・挨拶	10	○新しい発見や外来種についてまとめさせる。 ○活動の感想を発表させる。 ・挨拶して終了する。	・まとめの際は児童それぞれに考えを整理させる